

オンライン

令和5年度

緘黙研修講座



場面緘黙(ばめんかんもく)について正しい知識と援助技術を学ぶための研修講座を開催いたします。多くの方のご参加をお待ちしております

LIVE 2024年1月7日(日) 15:00~17:30

見逃し配信 2024年3月30日まで(申込み〆切は3月25日)

〈第一部〉研究から
学ぶ

場面緘黙の研究から支援への提案:介入研究のレビューを基に
辻田 那月氏 (大阪大学)

〈第二部〉事例から
学ぶ

学級で取り組む場面緘黙傾向のある児童への支援
藤本 進太郎氏 (神戸市立盲学校)

司会・コメンテーター

奥田健次氏 (学校法人西軽井沢学園)

日時

2024年 **1月7日(日)** 15:00~17:30

*見逃し配信は、ライブ配信終了後、1週間程度で視聴URLをお知らせします。

配信期間は2024年**3月30日**までです。

対象

教員・保育士・支援者・研究者等。当事者・経験者・保護者も参加可能です。
(高校生以下のご参加はご遠慮ください)

参加費

一般: 3000円 学生: 1000円
(ライブ配信・見逃し配信とも同額です)

申込方法

申込みフォームからお申込ください。

<https://kanmoku20240107.peatix.com>

↓お申込フォーム



ご参加
お待ちしております



- 研修はZoomで行います
- ネット環境やZoomの設定は各自ご準備ください
- 操作・設定に関するお問合せには対応できません。

※録画・録音・スクリーンショット撮影は
禁止です。
(主催者は配信用の録画を行います)

◆申込み〆切 ライブ配信: 2024年1月6日まで
見逃し配信: 2024年3月25日まで

日本場面緘黙研究会 ホームページ <https://mutism.jp>

お問合せは、メール (mutismworkshop@yahoo.co.jp)でおねがいします。



〈第一部〉研究から学ぶ

辻田 那月氏 (大阪大学)

京都大学総合人間学部卒業、京都大学大学院人間・環境学研究科修了。博士（人間・環境学）。場面緘黙親の会副代表。健康運動指導士・初級パラスポーツ指導員。

大学院では応用生理学研究室に所属し、心拍変動解析による自律神経活動・運動・食事およびメンタルヘルスとの関連に焦点を当てた研究に従事。2021年より京都大学大学院人間・環境学研究科研究員として乳幼児の発達調査研究に従事。2023年より大阪大学国際共創大学院学位プログラム推進機構・COデザインセンター特任助教として、多様な専門性を持つ方々との「共創」による社会課題の解決に取り組んでいる。

場面緘黙との関わりについて、自身の子が場面緘黙であり、行き渋りや不登校など様々な課題に直面してきた過程で関心を抱くようになった。その経験から、保護者が悩みを共有し、互いに励まし合う場の重要性を感じ、2020年に場面緘黙親の会を設立。同時に、場面緘黙に関する正確な知識がまだ十分に広まっていない状況を知り、研究者として場面緘黙の研究を始めることを決意。現在は、研究だけでなく、これまでに得た研究成果を臨床現場に活かせるよう、主に支援者の方に向けたシンポジウムやセミナーを行っている。

今回の発表では、発表者らが行った、1954年～2021年の場面緘黙児に対する介入研究175件のレビューを基に、現場の支援に活かせるような提案ができればと考えている。

〈第二部〉事例から学ぶ

藤本進太郎氏 (神戸市立盲学校)

小学校教諭一種免許・特別支援学校教諭一種免許。

2013年度より神戸市に採用される。知的障害特別支援学校、小学校特別支援学級、小学校通常学級、通級指導教室を経て、現在は神戸市立盲学校に勤務している。

大学学部生時代より、付属子育て支援センターにて当時センター長であった藤田継道先生（兵庫教育大学名誉教授）より臨床指導を受ける。大学を卒業後、知的障害特別支援学校にて勤務をしながら学びを継続するために先輩教員（門脇陽一先生：K-ABA研究会第2代会長）と共に関西応用行動分析学研究会（K-ABA）を立ち上げる。スーパーバイザーに藤田継道先生をお迎えし、月に一度応用行動分析学の基本的な知識の学習と事例検討を行っている。

現在は学校全体で取り組むポジティブ行動支援（SWPBS: School Wide Positive Behavior Support）における3層支援を意識した取り組みを行い、学校規模、学年規模、学級規模においても成果を得ている。

今回の事例では、学級規模で取り組んだ緘黙傾向のある児童への教科指導の取り組みを発表する。